

# ふれあいランド祭

2016

## ふれあいと交流を深める

県民の福祉交流施設ふれあいランド岩手は、平成6年12月9日に開館以来、利用者の累計数は449万272人（平成28年3月末）を達成しています。

ふれあいランド岩手は、県社協の組織の多様性と民間ならではの強さを発揮しながら、利用者やボランティアなどの意見・提言を積極的に受け止め、かつこれまでの運営経験と実績、蓄積したノウハウを活かしなが

ら、県民に親しまれ、地域から愛される施設を目指して、サービスの向上に努めています。20のイベントを開催

「ふれあいランド祭2016」（主催・ふれあいランド祭実行委員会・岩手県社会福祉協議会）は、9月4日の日曜日に開催され、延べ1万人を超える方々がさまざまなイベントを通してふれあいと交流を深めました。

開催挨拶でランド祭実行委員会の根子忠美委員長は「台風10号による豪雨災害でお亡くなりになった方のご冥福と、被災地の復旧と復興を願っています」としたうえで、「沢山の方々に来場を頂き感謝を申し上げます。世代を超えて交流して頂きたい」と挨拶。

ステージイベントは、盛岡市乙部中学校吹奏楽部、公益社団法人日本補助犬協会、アカペラサークルVOCO、\*はなおと\*などが出演し、演奏、ダンス、ライブなどと盛り沢山の内容でした。

今年度はランド内のエントランスホール、体育館、野外の陸上競技場、ゲートボール場などを会場に、▽ふれあいフリーマーケット▽屋台ひろば▽いわ

体・希望郷いわて大会実行委員会が協賛しました。親しまれ愛される施設に

ふれあいランド岩手開館21年目の平成27年度は、利用者数が過去最高の26万人に達しています。

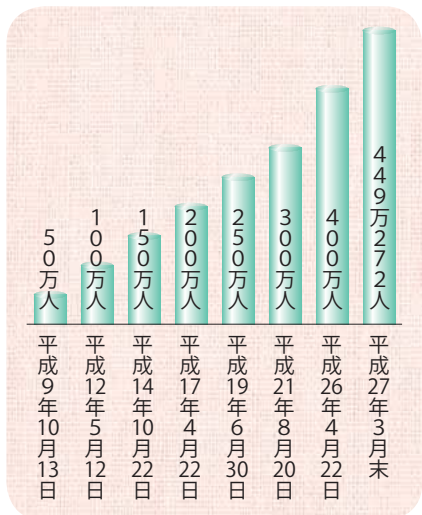
さらに文化及びスポーツ施設が一体化した特異性を活かしながら、時代にマッチした講座や教室を開催するなどして、利用しやすい環境を構築していく考えです。

なお、平成30年度までに、累計総利用者数520万人を目指しています。



体験コーナー▽あそびにコンビニ▽希望郷いわて大会・卓球バレー体験など20のイベントを開催しました。なお今年度は、希望郷いわて国

ふれあいランド岩手 利用者の推移



### 福祉交流施設 ふれあいランド岩手

福祉交流施設ふれあいランド岩手は、平成6年12月9日に開館以来、利用者の視点に立った事業展開でノーマライゼーション理念を浸透させながら、本県の福祉交流拠点としての役割を果たしています。スポーツ施設はプール、体育館、第1卓球場・第2卓球場、トレーニングルーム、陸上競技場、アーチェリー場などを備えています。

文化施設は会議室、研修室、ふれあいホール、創作室、陶芸室、音楽室、調理実習室、こども広場などを備えています。



福祉交流施設ふれあいランド岩手  
ふれあいランド祭 2016

## 県民に親しまれ愛される施設に



### 岩手県社会福祉大会開催

## 共に生き、共に支え合う

## 福祉社会の実現を目指して

第69回岩手県社会福祉大会が8月26日に盛岡市民文化ホール「マリオス」で開催（主催：岩手県社会福祉協議会・岩手県共同募金

会・岩手県民生委員児童委員協議会）され、社会福祉関係者等、約1,400名が参加されました。式典では、物故社会福祉

事業関係者追悼の黙祷が捧げられた後、永年の功績を称え、279名、31団体が表彰されました。記念講演では「人を動か





し、地域を変える」と題し、日蓮宗本證山妙法寺 第四十一世住職高野誠鮮氏の講演が行われました。

東日本大震災から6年目を迎えた中で、「豊かな福祉社会の実現」のため、大会宣言では、

一、被災者や、制度のはざままで困窮する人々が抱える様々な生活課題の解決に向け、公的福祉サービスの利用援助などに加えて、制度によらない住民主体の活動や、福祉に関わる事業者の連携協働の下に、新たな支援策を積極的に展開します。

一、福祉教育の推進やボランティア活動の振興など

## 桑島顧問県勢功労者表彰受賞

### 社会福祉の増進や被災者の生活再建などに貢献

平成28年度県勢功労者に、岩手県社会福祉協議会桑島博顧問など4名が決定し、5月25日、知事公館で表彰式が行われました。

達増知事からは「多年にわたり県勢の発展に尽力され、県民を代表して心から感謝する」と祝辞が述べられ、表彰状が手渡されました。

桑島顧問は、社会福祉の増進や、

を通じて、住民相互の助け合いの機運を醸成し、災害にも備えた安全安心なコミュニティの形成を促進します。

一、福祉・介護人材の養成・確保を進めるとともに、福祉サービスの質の向上を図ります。

一、福祉分野のみならず、医療・保健・教育・労働など、多種多様な分野の組織、機関等とのネットワークを強化し、より効果的な活動の展開に努めます。

一、社会福祉法人における組織統治の強化と、地域における公益的事業の推進に取り組みます。以上を採択して、閉会しました。

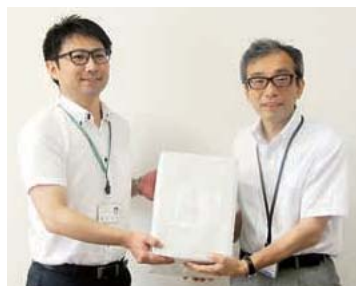


岩手県社会福祉協議会  
桑島 博 顧問

東日本大震災津波からの被災者の生活再建などに貢献され、県勢功労者に決定しました。

## 【寄贈】岩手銀行労働組合使用済切手を寄贈

岩手銀行労働組合（鈴木拓也執行委員長）の鈴木執行委員長と佐々木書記長は、7月28日（火）に岩手県社会福祉協議会を訪れ、使用済切手4,575枚を



鈴木執行委員長（左）と根子専務理事

ム分を寄贈しました。使用済切手は日本社会福祉弘済会を通じて換金され、車いす（県内の工業高校の生徒・大学生らが中古の車いすを修理し、海外に送る車いすフレンドズの活動）の輸送費に充当されます。

岩手銀行労働組合は、2003年度からこの活動を支援しており、使用済切手等の寄贈は今回で15回目となります。

今年度は、10台の車いすがタイなど東南アジア諸国に送られます。

### 皆様のご支援 ありがとうございます

東日本大震災で被災地などのため、多くの企業・団体・個人の方からご支援をいただき、深く感謝申し上げます。（順不同・敬称略）

[6月1日～8月31日]

株式会社ブリッジ	(3件)	151,932 円
静岡県社会福祉協議会 フェスタシズウェル実行委員会	(1件)	11,601 円
名郷根法育	(1件)	1,000 円
名郷根和博	(1件)	1,000 円
名郷根博明	(1件)	1,000 円
桑島 博	(1件)	100,000 円